

**MG101FX**  
GOLD

**MG102FX**  
GOLD

**MG100HFX**  
GOLD

**OWNER'S MANUAL**

*Marshall*

## はじめに

Marshall MG Goldをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

MG Goldはモダンなマーシャルトーンを手軽に楽しめるアンプです。

MG Goldでは煌くようなクリーンから重厚なブルーストーン、伝統的なロックサウンド、ヘヴィなメタルサウンドまで様々なタイプのサウンドに簡単にアクセスでき、自在にコントロールできるよう細心の注意を払って設計されています。

自宅練習でもライブパフォーマンスでも、MG Goldはルックス以外の面においても、きつとご満足いただけることでしょう。

皆さんがMG Goldを楽しんでいただけることを心から祈っています。

- Marshall チーム一同

## 必ずお読みください:安全上の重要事項

### 警告:

電源は必ず交流100Vを使用してください。商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

スピーカーの接続にギター用のシールドケーブルは絶対に使わないでください。

### 電源入力とヒューズ:

アンプの定格入力電圧はリアパネルに記載されています。

付属の電源コードをアンプ裏面のMAINS INPUTに接続してください。

ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。

**絶対に**定格以外のヒューズを使用しないでください。

### アンプを運ぶ際の注意点:

機器の電源を切った上、全ての接続ケーブルを外し移動/運搬を行ってください。

### 電源を入れる前に:

### 警告:

正しく接続を行わないとアンプ及び、他機器の破損の原因になります。

スピーカーキャビネットの接続には専用のケーブルをご使用ください。

1. POWERスイッチがOFFになっていることを確認してください。

2. 付属の電源コードをリアパネルにあるMAINS INPUTに接続してから、アース線を接続し、電源コンセント(AC100V)に接続してください。

3. フロントにあるコントロール(つまみ)がすべてゼロになっていることを確認してください。

4. ギターをフロントパネルのINPUTに接続してください。

5. MG100HFXは必ずスピーカキャビネットと接続して使用してください。

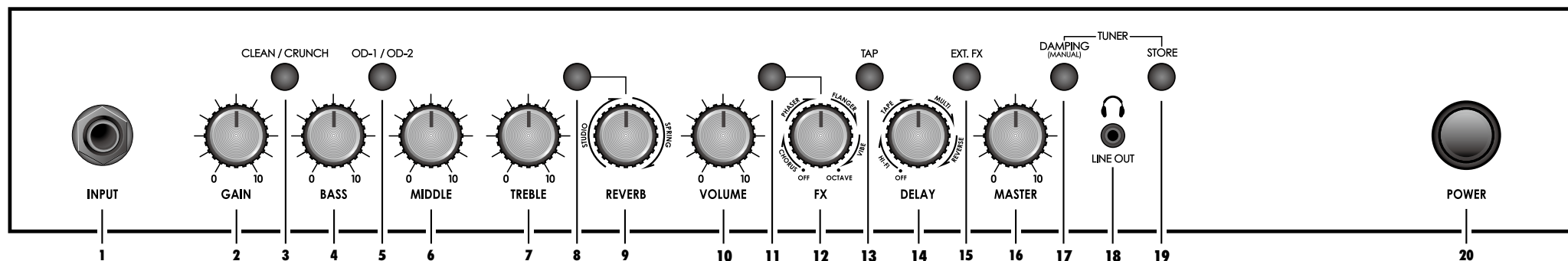
6. フロントパネルのPOWERスイッチをONにしてください。

7. 音量をお好みの状態まで上げれば演奏が可能な状態になります。

---

ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みください。  
全ての注意書きに従い、警告を守ってください。  
この取扱説明書は保存してください。

# フロントパネルの機能



## 1. INPUT JACK SOCKET

ギター用ケーブルを使用して楽器を接続します。

## 2. GAIN CONTROL

プリアンプ部の入力ゲインを調節します。選択したチャンネルに応じたディストーションが得られます。

## 3. CLEAN / CRUNCH SWITCH

クリーン (緑色点灯) とクランチ (赤色点灯) のチャンネルを切り替えます。

## 4. BASS CONTROL

低音域の出力を調節し、サウンドに深みと温かみを加えます。

## 5. OD-1 / OD-2 SWITCH

OD-1 (緑色点灯) と OD-2 (赤色点灯) のチャンネルを切り替えます。

## 6. MIDDLE CONTROL

中音域の出力を調節し、サウンドの厚みを調節します。

## 7. TREBLE CONTROL

高音域の出力を調節し、サウンドに明るさと切れ味を加えます。

## 8. REV SWITCH

リバーブをON/OFFします。

## 9. REVERB CONTROL

タイプの異なるSTUDIO/SPRING2種類のリバーブから選べるデジタルリバーブです。STUDIOはスタジオ風プレートリバーブを再現したサウンドで、Springは伝統的なスプリングリバーブを再現したサウンドです。

## 10. VOLUME CONTROL

選択したチャンネルの音量を調節します。

## 11. FX SWITCH

エフェクトセクション (FXとディレイ) をON/OFFします。

## 12. FX CONTROL

コーラス、フェイザー、フランジャー、ヴァイブ、オクターヴの5種類のデジタルエフェクトを選択、調節します。

## 13. TAP SWITCH

2回連続して押すと、1回目と2回目の間隔でディレイタイムが設定されます。その際LEDが設定されたディレイタイムにあわせて点滅します。

## 14. DELAY CONTROL

4種類のディレイ (ハイファイ、テープ、マルチ、リバース) の中からタイプとレベルを選択、調節します。

## 15. EXT. FX SWITCH

エフェクトループをON/OFFします。

## 16. MASTER CONTROL

アンプの最終的な音量を調節します。

## 17. DAMPING (MANUAL) SWITCH

パワーアンプのキャラクターをクラシックアンプ風 (LED消灯) とモダンレスポンス (LED点灯) 間で切り替えます。このスイッチを2秒以上長押しするとマニュアルモード/プリセットモードを切り替えます。フットコントローラーPEDL-90008 (別売り) を使用中にDampingスイッチとStoreスイッチを同時に長押しすると、チューナーモードになります。

## 18. HEADPHONE / LINE OUT SOCKET

3.5mmヘッドホン出力 (ラインアウト兼用) です。

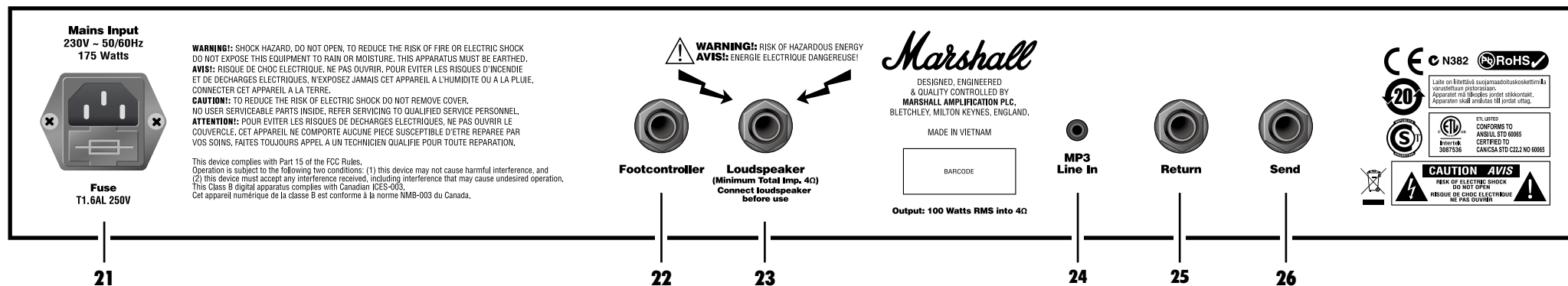
## 19. STORE SWITCH

アンプのセッティングをチャンネルに保存しません。マニュアルモード時はStoreボタンが赤色に点灯しています。

## 20. POWER SWITCH

アンプの電源ON/OFFスイッチです。アンプの電源が入るとチャンネルスイッチLEDが点灯します。

# リアパネルの機能



## 21. MAINS INPUT CONNECTOR

付属の電源コードを接続します。

電源は必ず交流100Vを使用してください。

商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。

**絶対に**定格以外のヒューズを使用しないでください。

## 22. FOOTCONTROLLER SOCKET

フットスイッチを接続します。

## 23. LOUDSPEAKER OUTPUT(S) SOCKET

MG101GFXとMG102GFXには1つ/MG100HGFXには2つラウドスピーカー出力があります。外部スピーカーキャビネットとの接続には、必ず専用のケーブルをご使用ください。

## 24. MP3 LINE IN SOCKET

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。プレーヤーとアンプの音量を調節することで、お気に入りの曲やバックিংトラックと合わせて演奏できます。

## 25. RETURN SOCKET

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのアウトプットに接続します。

## 26. SEND SOCKET

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのインプットに接続します。

# 概要

## チャンネル選択

アンプには、4つのチャンネル(クリーン、クランチ、OD-1、OD-2)があります。

Clean/Crunchスイッチ(3)を押すとクリーン(緑色点灯)とクランチ(赤色点灯)チャンネル間の切り替えができます。

OD-1/OD-2 スイッチ(5)を押すと、OD-1(緑色点灯)およびOD-2(赤色点灯)チャンネル間の切り替えができます。

ODチャンネルからClean/Crunchチャンネルに切り替えるとき、切り替える直前の最後のチャンネルを記憶します。例えば、クランチチャンネルからODチャンネルに切り替え、Clean/Crunchスイッチ(3)を押すと、アンプは、クリーンチャンネルで再び始動するのではなく、クランチチャンネルに戻ります。

## モード

アンプは、プリセットとマニュアルの2つのモードで動作します。

モードの切り替えはDampingスイッチ(17)を2秒以上長押しします。マニュアルモード時には、Storeスイッチ(19)が赤色に点灯し、選択されているチャンネルのライト(3または5)が点滅します。

電源を落とした後も最後に使ったモードが記録され、次に電源を入れる際にも自動的に同じモードを呼び出します。

## プリセット

工場出荷時はこのモードに設定されています。

プリセットモードにはマスターボリューム(16)以外の全てのセッティングが各チャンネルに保存されています。

チャンネルを選ぶことで自動的にチャンネル内に保存されている設定になります。

**Note:**チャンネル選択時、切り替え時はデフォルト設定なので、マスター音量(16)以外のツマミのレベルは音に反映されていない状態です。

ツマミを回すと場合、回したツマミのパラメーターにあわせ音が変わります。

ツマミの設定が変更されると、選択されたチャンネルライト(3または5)が点滅して、現在のプリセットが変更されたことを示します。

変更した設定を保存するには、Storeスイッチ(19)を押します。

Storeスイッチ(19)を押さずに別のチャンネルを選択すると、新しいチャンネルとその設定が呼び出され、変更した設定が失われます。

## マニュアル

マニュアルモードでは、アンプは常にツマミの位置どおりに動作します。

マニュアルモード時にチャンネルを変更しても、プリセットは呼び出されません。

Storeスイッチ(19)を押すことにより選んだチャンネルにその設定を保存することができ、プリセットモード時に呼び出すことができます。

セッティングが保存されると、現在のチャンネルライト(3または5)の点滅が止まり、プリセットが保存されたことを示します。

## リバーブ、FX およびディレイ

このアンプには以下①～③のデジタルエフェクトが搭載されていて、最大3つまで同時使用可能です。

### ①リバーブ

Reverbでは2つのリバーブタイプ(StudioまたはSpring)の選択とレベルの設定を行います。

### ②FX

FXコントロールは基本的に5つのセグメントに分割されています。単一設定のオクターブを除き、FXタイプの選択と関連する設定の調節を行います。FXコントロールが「0」に設定されている場合、FXはオフになり、別売りの4wayスイッチフットコントローラー上でも確認できます。

0	FX オフ
コーラス	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加し、depthが減少します。
フェイザー	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加します。
フランジャー	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加し、feedback、Depthが減少します。
ヴァイブ	コントロールを時計回りに回すと、変調速度が上がります。
オクターブ	FXコントロールが時計回りに回りきった状態では、Octave効果がかり、1オクターブ低い音が同時に鳴ります。

### ③ディレイ

ハイファイ忠実度の高いデジタルディレイで、各リピートは元音と同じです。

### テープ

テープエコーのクラシックなアナログ効果のエミュレートし、リピート音が徐々に暖かく暗いサウンドに変化します。

### マルチ

異なる複数のタイミングでディレイ音が再生されます。

### リバーブ

その名のとおり、逆再生音をシュミレートしたディレイ音が再生されます。

### タップテンポ

タップテンポスイッチ(13)は、ディレイのみに使用します。

2回連続して押すと、1回目と2回目の間隔でディレイタイムが設定されます。その際LEDが設定されたディレイタイムにあわせて点滅します。

ディレイタイムが減少するにつれて、リピート回数が減少します。ディレイのあるチャンネルからディレイのないチャンネルに変更した場合、元チャンネルのディレイ音が残ります。

ディレイのあるチャンネルから異なるディレイタイムに設定したチャンネルに変更した場合は、元チャンネルのディレイ音は残りません。

## MP3/ライン入力

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。(24)プレーヤーとアンプの音量を調節することで、お気に入りの曲やバッキングトラックと合わせて演奏できます。

## ヘッドホンおよびライン出力

3.5mmジャックのヘッドホンを接続します。この出力に接続時はスピーカーから音は出ません。

さらに、この出力はライン出力として使用して、信号を外部機器(例えば、コンピュータ、デジタルレコーダーまたはミキサー)に送信することもできます。ジャックがヘッドホン出力に差し込まれると、スピーカーはミュート状態になり、「サイレントレコーディング」が可能な状態になります。アンプの出力は、使用される外部機器から直接確認することができます。

## ダンピング

ダンピングスイッチ(17)で、パワーアンプの2つのモードを切り替えます。ダンピングがオフ(LED オフ)のとき、中低音と高音が強調されたクラシックなパワーアンプのサウンドになります。ダンピングをオンに切り替えると(LED オン)低音および高周波数範囲の両方でスピーカーの共鳴をブーストしたモダンなサウンドになります。

## FX ループ

リアパネルのエフェクト・リターン・ジャック(25)に、エフェクト・ループの中で使用するエフェクト・プロセッサまたはペダルの出力を接続します。エフェクト・ループはシリーズ(直列)接続で楽器レベルに設定されているため、ギター・エフェクトまたはラック機器のいずれでも接続できます。リアパネルのエフェクト・センド・ジャック(26)に、エフェクト・ループの中で使用するエフェクト・プロセッサまたはペダルの入力を接続します。エフェクト・ループは、フロントパネルの外部エフェクト・スイッチ(15)でオン/オフします。

## 概要

### スピーカー

アンプに外部スピーカーキャビネットを接続する時は、必ず専用のケーブルをご使用ください。ラウドスピーカー出力 (23) を使用して、内部スピーカーまたは外部スピーカー・キャビネットをアンプのパワーアンプ部に接続します。

### MG101FX/MG102FX

ラウドスピーカー出力 (23) を使用して、内部スピーカーまたは外部スピーカー・キャビネットをアンプのパワーアンプ部に接続します。

外部スピーカーキャビネットを使用する時は、合計インピーダンスを4Ω以上にしてください。

### MG100HF

ラウドスピーカー出力が2つあり、1つまたは2つの外部スピーカー・キャビネットをアンプのパワーアンプ部に接続します。

外部スピーカーキャビネットを使用する時は、合計インピーダンスを4Ω以上にしてください。

### 電源

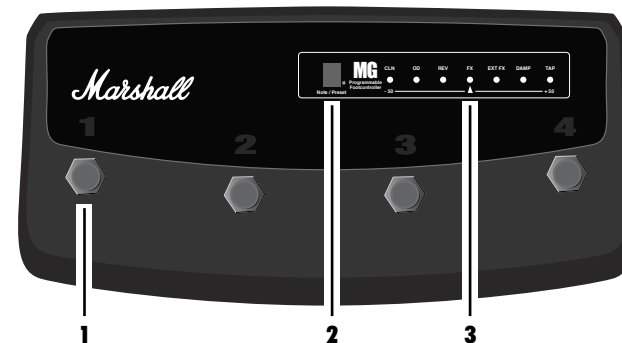
電源スイッチ (20) で、アンプのオン/オフを切り替えます。保存作業をしていない場合、設定は消去されます。

### 設定のリセット

#### 警告:アンプおよびフットコントローラーの設定がすべて消去されます。

アンプを工場出荷時の設定にリセットするには、Storeスイッチ (19) を押しながらアンプの電源を入れてください。Clean/Crunch (3) およびOD (5) のライトがオレンジ色に点灯するのを確認してからStoreスイッチ (19) を放してください。アンプをリセットすると、ユーザー・チャンネル・プリセットとユーザー・フットコントローラー設定がすべて消去され、工場出荷時の設定にリセットします。

## フットコントローラー STOMPWARE PEDL-90008 (オプション)



### 1. フットスイッチ

それぞれのフットスイッチに異なる機能を割り当てられます。

### 2. デジタル・ディスプレイ

このディスプレイに、フットコントローラーのさまざまな機能を表示します。

### 3. LEDステイタス・パネル

アンプまたはチューナーの現状を表示します。

CLN & OD: 現在のチャンネル  
REV: リバースのオン/オフ  
FX: エフェクト・セクションのオン/オフ  
EXT FX: 外部エフェクト・ループのオン/オフ  
DAMP: ダンピングのモード  
TAP: タップ・テンポのスピード

### フットコントローラーの工場出荷時設定

フットスイッチ1: クリーン/クランチ

フットスイッチ2: OD-1/OD-2

フットスイッチ3: タップ・テンポ

フットスイッチ4: チューナー

### プログラミング

フットスイッチをプログラミングして、フロントパネルのスイッチ切り替え (スイッチ保存) または完全なプリセット切り替え (プリセット保存) ができます。

### スイッチ保存

フロントパネルのスイッチをフットスイッチ (1) に割り当てるには、任意のフロントパネルのスイッチを押したままにしながら、それを割り当てたいフットスイッチ (1) を押します。デジタル・ディスプレイ (2) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

### プリセット保存

プリセットをフットスイッチ (1) に割り当てるには、必要なチャンネルを選択し、必要に応じてフロントパネルのコントロールを調節し、フロントパネルのストア・スイッチを押さえたままにしながら、これを割り当てたいフットスイッチ (1) を押します。デジタル・ディスプレイ (2) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとストア・スイッチを放してください。

フットコントローラーのプリセットは、アンプの中に保存されている各チャンネル専用のプリセットから独立しています。そのため、同じチャンネル/プリアンプ部に複数のプリセットをつくることができます。

チャンネル・プリセットまたはフットスイッチ・プリセットのいずれかが変更されると、デジタル・ディスプレイ (2) が点滅し始めます。フットスイッチ・プリセットが変更された時はその番号が点滅し、チャンネル・プリセットが変更された時は「1」が点滅します。

この時点でストア・スイッチだけを押し、変更

されたチャンネルまたはフットスイッチのプリセットが上書きされます。

変更されたチャンネル・プリセットをフットスイッチに保存するには、ストア・スイッチを押しつつけながら、選択したフットスイッチ (1) を押します。

変更されたプリセットを別のフットスイッチに保存するには、ストア・スイッチを押しつつけながら、選択したフットスイッチ (1) を押します。これは通常のプリセット保存と同じ手順です。

### デジタル・ディスプレイ

フットスイッチ・プリセットが呼び出された時は、デジタル・ディスプレイ (2) にフットスイッチの番号が表示されます。チャンネル・プリセットが呼び出された時は、デジタル・ディスプレイ (2) には何も表示されません。

チャンネル・プリセットまたはフットスイッチ・プリセットのいずれかが変更されると、デジタル・ディスプレイ (2) が点滅し始めます。フットスイッチ・プリセットが変更された時はその番号が点滅し、チャンネル・プリセットが変更された時は「1」が点滅します。

### チューナー

フロントパネルのDampingスイッチ (17) およびStoreスイッチ (19) を同時に押すか、フットスイッチにチューナーを割り当てます。注: 工場出荷時の状態にリセットした場合は、初めて電源を入れた時にチューナーはすでにフットスイッチの4番に割り当てられています。

チューナーをフットスイッチに割り当てる手順は、他のスイッチの保存と同じです。Dampingスイッチ (17) とStoreスイッチ (19) を同時に押さえながら、それを割り当てたいフットスイッチを押します。デジタル・ディスプレイ (2) のU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

チューナーモード選択時にはアンプはミュートされ、アンプ本体のClean/Crunch (3) およびOD-1/OD-2 (5) スイッチが黄色く点灯します。デジタル・ディスプレイ (2) に、入力信号に最も近い音程が表示されます。右下にドットが表示されている場合は半音高い(#)状態を示しています。

LEDステイタス・パネル (3) は、最も近いノートと演奏されているノートがどれくらい離れているかを表示します。中央のエフェクト・ステイタスLEDが点灯している時は、チューニングが合っていることを示しています。他のLEDは、±50セントの範囲で、チューニングが上または下であることを示します。チューナーを終了するには、いずれかのフットスイッチを押してください。アンプは、チューナーを使用する前の設定に戻ります。



**MARSHALLAMPS.COM**



Marshall Amplification Plc, Denbigh Road,  
Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.  
Telephone: +44 (0) 1908 375411 | Fax: +44 (0) 1908 376118  
Registered in England. Registered Number: 805676

---

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to its policy of constant improvement and development, Marshall Amplification Plc reserves the right to alter specifications without prior notice.

BOOK-91022